

犬山白寿苑だより

ご意見箱・提案箱を活用しよう！

現在、白寿苑では、白寿苑をご利用いただいた方向けに事務所に意見箱が設置してございます。

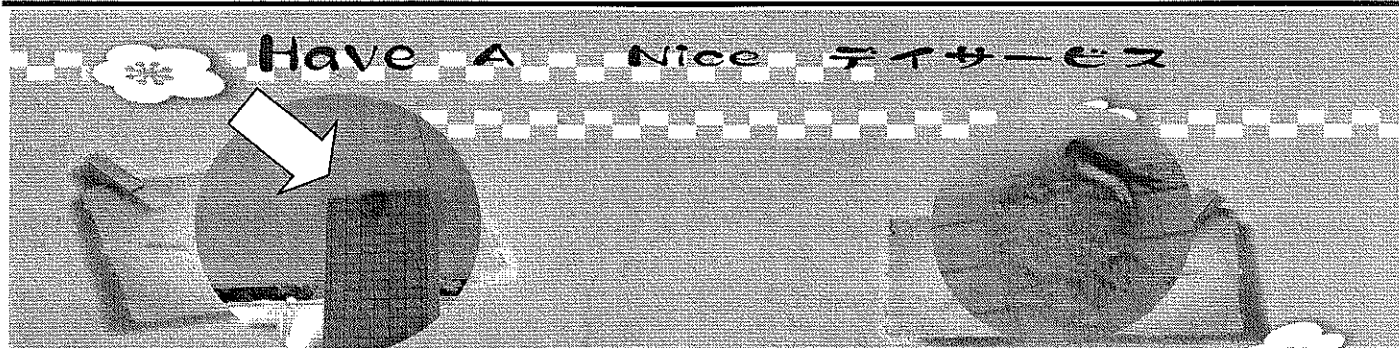
利用者様に、安心、安全、ご満足していただける生活の場を提供していきたいと考えていますので、ご家族の皆様方のどんな些細なご意見、ご要望でもできる限り取り入れ、改善していきたいと考えておりますので、何かお気づきの事項がございましたらご遠慮なく意見箱を活用して頂く様にお願いいたします。

また、当苑で働く職員向けに提案箱というものを設置しております。提案箱の設置目的は、日々ご利用者の身の回りのお世話をさせていただいている中で、「こういうものがあつたらなあ」とか、「ここがこうなればもっと」とか、「〇〇さんにとってよくなるのになあ」といった、細かい気づきから発見したような問題点・改善提案を精査しながら改善してい

こうというものです。

これまで提案された事項で、改善されたものとしては、

- ① 寿考館・尚齒館に老眼鏡設置
これまで濫觴館玄関に老眼鏡を設置しておりましたが利用者様のご家族が尚齒館・寿考館に直接来ていただいたという提案に対して乃改善
- ② 寿考館扉のストッパー
配膳カート等の出入りの際、扉を固定できず風で勢いよく閉まってしまふという相談に對する改善
- ③ デイサービスへの連絡ボード
休みの日に利用者家族からの連絡事項を伝える方法がないという相談に對する改善等があります。皆さんが気づいた事を提案して白寿苑を少しでもより良くしていきたいましよう。



デイルーム北側エントランス中央の柱には、毎年ツバメがやってきます。そして今年も、そんな季節になりました。先日午後からの体操後、機能訓練として廊下を歩行している際、利用者さんがツバメを発見。「ツバメが来ているね！」「かわいいね」「雛がいるかな？」と期待していた6月初旬卵が雛にかえりました。

それからは毎日雛を見に行き「かわいいね」「かわいいね」「同じ雛ばかりが餌を貰ってないかしら？」心配しながら楽しんでいる様子です。今いる5羽の雛たちが巣立つ日まで利用者さんと共に、その子育てぶりを見守って行こうと思います。

六十五歳以上でひとり暮らし高齢者世帯などへ訪問・ご協力をお願いします

犬山市では、地域の皆さんが安心して生活出来るよう、六十五歳以上のひとり暮らしの方、及び七十五歳以上の高齢者世帯を対象に、ご家庭へ訪問させていただいております。

この訪問の目的は、介護保険の御案内をしたり、生活の身の回りの事をお尋ねする事などにより、高齢者の相談窓口である高齢者あんしん相談センターにおいて見守っていただくこととなります。万が一に備えて、緊急時の連絡先・健康相談・福祉サービス利用状況・災害時要援護者登録申請その他心配事などをお気軽に話いただければと思います。訪問は、平成二十二年三月に、民生委員により行われた高齢者世帯調査のデータを基に犬山市より委託を受けた高齢者あんしん相談センター楽田地区サブセンターの相談員（栢森）が順次お宅を訪問致しますので、その際にはご協力を宜しくお願い申し上げます。

楽田地区サブセンター
栢森ふみ子

寿考館便り～ユニットケア最前線～

大口アピタ外出

～染井町～



染井町では、五月二十八日（金）に利用者K・S様とA・Y様、職員二名で大口アピタへ外出しました。車中は、「天気が良いと良かった。」「楽しみだわ。」等とわくわくさされている様子でした。大口アピタへ着くと、まず記念写真を撮り、その後昼食を選ぶ為、様々なお店を回りました。お二人共とても喜んでおられ、最終的にはK・S様は回転寿司に、A・Y様はうどん屋で昼食を摂られる事になりました。お二人共御自分の好きな物を召し上がられる事が出来た為、満面な笑みで美味しそうに召し上がって見えました。昼食後、皆様で店内をご覧になられ、その後は喫茶店に行き休憩をしました。普段、利用者様と職員で飲み物を飲みゆっくりお話しする機会が中無いたので、こういった機会がつくれて良かったと思います。喫茶店を出た後は、K・S様が大好物のたこ焼きを買いたいので、焼きたこ焼きを買って帰りました。



白寿苑に戻られると「今日、外に行けて良かった。」「自分一人では行けなくて楽しかった。」等とおっしゃって下さいました。楽しい一時を過ごす事が出来たので良かったです。と思います。

今後、利用者様が行きたい場所へ外出し利用者様と職員の絆をもっと深めていきたいと思えます。

野菜作り

～思川町～

思川町に異動になり早九ヶ月、ようやく利用者様の生活のリズムが分かってきました。皆様とても穏やかに生活していらつしやいます。

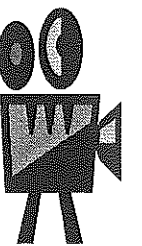
今回、思川町にて野菜&お花作りを始めました。利用者様が全員参加というわけにはいきませんが、手伝っていただけの利用者様と一緒に野菜の収穫が出来るといいなと思います。お花も少しずつ芽が出てきました。どんなお花が咲くのかと皆様に楽しみにしています。

これからも、季節の野菜&お花作りをしていきたいと思っています。一日中施設内の生活なので、少しでも季節の移り変わりを感じて頂ければいいなと思います。利用者様が笑顔で一日を過ごして頂けるよう頑張りたいと思います。



お誕生日会

～花笠町～



五月二十三日（日）K様のお誕生日を皆様でお祝いしました。

K様は美空ひばりが大好きだと聞き、当日は美空ひばり主演「伊豆の踊子」の映画鑑賞会を行いました。実は前回にもイベントのひとつとして美空ひばりを上映したので利用者様が飽きてしまわれないかと心配でしたが上映後に「ひばりならモノクロでも何回観てもいいわ。」とおっしゃって下さる方がみえ安心しました。K様も最前列の席で熱心に映像を眺めてみえ時折、隣の利用者様に「この人知ってる？」と話しかけられ「うんうん。」と微笑みながら返事してみえました。ご自分の好きな物を誰かとわかり合えることは親近感がわき嬉しいことだと思えます。これからも利用者様が興味のある物を皆様と一緒に楽しんで頂きたいと思えます。



花フェスタに行ってきました！
～松月町～



六月一日（火）に相談員、職員二人利用者様三人で岐阜県可児市にある花フェスタ記念公園に行きました。久しぶりの外出、しかもお一人は初めての外出ということで皆様「楽しみだわ」と待ちきれない様子で乗車されました。走行中も窓の外を眺めては、そわそわとしてみえました。花フェスタに到着すると色鮮やかなバラの花に迎えられ、利用者様だけ

でなく職員も「綺麗だね」と感嘆の言葉をこぼしました。園内のバラの前で立ち止まり、指で触れたり香りを楽しまれ何度も「綺麗だね」「いい香りだわ」と笑顔で話して下さいました。途中職員に車いすを押してもらうことを遠慮し、「私が押したるから乗りやあ」と勧めることもありました。笑い声も高々にまた賑やかに園内を散策することができました。利用者様の喜びが今後も続くようにしたいと思います。



ユニット行事

～紅華町～

紅華町に新しい利用者様が入所されました。女性の方で歌や踊りが大好きで毎日行う歌や体操にも積極的に取り組まれ慰問等にも他の利用者様と一緒によく参加されてみえます。他の利用者様とも馴染まれて日々穏やかに過ごされてみえます。行事として栗ようかん作りを行い寒天をふやかす作業から始まり利用者様と職員で寒天をちぎり材料をまぜておやつ時間に美味しく頂きました。梅雨の時期に入りジメジメしておりますが、少し振りにゆつくりと出来る場所を見つけて探してお出かけ（外出）の予定を計画しております。

濫觴館便り

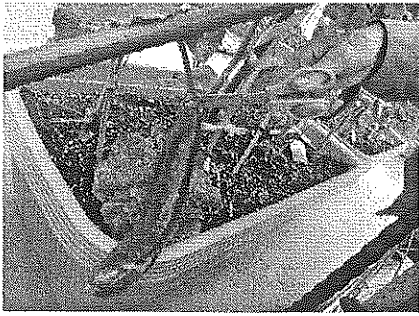
園芸クラブ

「トマトとキュウリ」



濫觴館では四月末にトマトとキュウリの苗を植えてから、利用者様が交代で毎日、毎日水をあげて大切に育ててきました。そして六月上旬、ついにキュウリの収穫の時がきました。大きく育ったキュウリを見て、「良く育ったね」と皆様とても喜んでみえました。その日は二本収穫する事ができ、初物は仏壇にお供えして残りの一本をさっそく食べる事にしました。シンプルに醤油やお酢で和えて食べて頂きました。自分達の手で育てた事もあって、皆様とても美味しいと喜びながら食べられました。

後日再びキュウリを収穫した際には六本も収穫する事ができ、これも皆様で美味しく食べられました。トマトの方はまだ収穫できませんが、これから利用皆様と水をあげて早く食べられる日を心待ちにして大切に育てていきたいと思えます。



社会人一年生！



四月から社会の一員として働き、日々一つ一つの事を覚えながら自分の役割を果たし、その対価として給与を頂くことでようやく自分が社会人になったという実感が湧いてきました。今ままでずっと学生だったこともあり、なかなか学生気分から抜け出すことができないのかなと思ったりのですが、思いの外早く社会人になったという自覚が出てきました。社会人になって強く思ったことが一つありました。学校の授業をもっとしっかり聞いておけば良かったという事です。制度のことや介護技術等に関して理解をしているつもりでいたのですが、実際現場で働くとは大切なポイントを抑えられていない自分がいたので今更ながら後悔をしています。今は日々勉強ですが介護福祉士という資格で仕事をしたいことに誇りを持っているので今後頑張っていきたいです。

夏祭りに向けて



壁画作成中！

現在、夏祭りに展示する壁画作品を、毎週日曜日の午後利用者様方と一緒に作成しています。今回は、作品中に貼り付けるワラビをいくつか作りしました。後は出来上がった部分を組み合わせれば完成です。夏祭りを楽しみにしてください。

尚齒館便り

アクアトトぎふへの外出行事



尚齒館六月度の外出としまして、岐阜県各務原にあります「河川環境楽園アクアトトぎふ」へ行って参りました。当日は曇り時々快晴で、まさにお出掛け日和となりました。館内へ入場するとそこには見たことのある魚から、海外に住む珍しい種類の魚まで、実にさまざまな淡水魚が悠々と泳いでいました。参加された利用者様は、大変興味深そうなお様子で水槽を覗き込んでみえました。中でも、利用者様の背丈以上ある巨大な淡水魚の泳いでいる水槽では、「わあ大きいわね」と思わず驚きの声をあげられてみえました。また、その大きな魚は利用者様の後ろを追いかけられるようにゆっくりと泳いでいるため、「この大きな魚は、きつとTさんの事が好きなのではないかな」とお話しすると、嬉しそうに笑ってくださいました。

この施設は、どこかノスタルジックな風景をイメージした造りになっております。散策していると、まるで利用者様が幼少時代に見ていた光景が広がっており、懐かしそうなお様子で昔を回想されてみえました。帰苑する車の中で、「水族館はどうでしたか」とお尋ねすると、「よかったですわ」「お魚可愛かったわね」と感想をお話して下さいました。普段の苑内での生活の中とは、また違った表情を見せて頂き、利用者様にとっ

て今回の外出が気分転換のできる良い機会になったと思えました。

父の思い出



スーパーの店頭で並ぶ青梅を見て、時折思い出す。小さい頃の風景がある。金たらいに赤シソをいれて、塩もみをする父の姿を。仕事で鍛えた両腕に、ギョツギョツと、赤シソを塩もみすると、黒っぽい汁が出てくる。一通りもむと、その汁は捨て、新たに塩もみする。すると、きれいな赤紫色の汁が出てきて、ブーンと、あの酢っぱいニオイがすると、父は、うんと力を入れて強くもみ出していた。それを、何度かくり返し、一通りおわると、フーッと、息を吐いて、やれやれといった表情の父を思い出す。今、その父はいない。何年前かに、仕事の終わりに立ち寄った店で、脳卒中で倒れ、専門医の手で一命をとりとめたが、言語障害と、右半身麻痺の後遺症が残った。その後の生活は、大変だった。母と私二人、介護とリハビリに明け暮れ、介護サービスも、充実していなかったため、右往左往し、今後の生活にも、母と何度も話し合い、途方に暮れた事もある。それでも、デイサービスを受けたり、ケアマネジャーなど、アドバイスを受けたり心強かった事が今でも感謝している。それが、今の仕事先につながっているかもしれない。今は梅干しを作っていないが、仏間の父は、何を思っていたのだろう。好きだった梅酒を飲みたいと思っていたりして、でも仏間には、酒は禁物だそうで、残念。

ショートステイ便り

安心していただける利用の案内

間もなく梅雨も明けそう。木立の緑がますます色濃く感じられるこの頃です。

さて、数ある施設のなか当苑のショートステイを御利用いただきましてスタッフ一同心より感謝申し上げます。

ご利用される方のご都合によりショートステイを利用される期間は異なり、それぞれの来苑風景は様々です。

初めてご利用頂く方は緊張されていることが多く、館内を案内しながらスタッフとの会話で少しでも緊張をほぐしていただいています。毎月利用される方は「以前来たことがある？」と思いつつ、緊張が少しおさまる。緊張気味になっていきますが時間が経つにつれ自然体になり、他の利用者の方とのお喋りを楽しんでいきます。

そして毎週利用の方は「元気だった？また此処に来たから」と利用者同士笑顔で挨拶が始まりお部屋への案内も「いつものところよねえ」と我が家のようにくつろいでいます。1人でも多くの利用者様の方が当苑で安心して楽しく過ごせるようスタッフ一同努力してまいりますので、よろしくお願い申しあげます。

ボランティアさん募集します！

ご利用者の娯楽、心身のケア、苑内の美化活動など多くのボランティアの方々にご来苑頂き、誠にありがとうございます。

当苑では利用者様との話の相手や、手芸のお手伝い、施設内外の清掃活動などご協力頂けるボランティアさんを随時募集しております。特別な技術や資格は必要ありません。得意な分野や興味のある活動を選んで参加してみたい方はご連絡下さい。詳細等お聞きになりたい方はご連絡下さい。

担当者 東

ご寄付、ご支援ありがとうございます

- ・古布 (A様)
- ・掃除モップ (清林館高校様)
- ・紙おむつ (B様)
- ・十万円 (退苑者ご家族様)
- ・ヘルパーカー・杖 (C様)
- ・ビールサーバー (わかまつ様)

温かいご支援ありがとうございます。皆様より寄せられますご寄付・ご支援に感謝申し上げます。より一層の入所者様へのサービス向上と施設運営に役立たせて頂きます。

七月行事予定

七月五日	御詠歌
七月七日	楽田婦人会 奉仕活動
七月九日	音楽療法 (尚)・バイキング・雅鳥さん慰問
七月十二日	書道教室 (濫)
七月十三日	床屋 (ひばり) さん
七月十三日	裁縫教室 (松)
七月十三日	バイキング
七月十三日	音楽療法 (濫)
七月十三日	床屋 (廣瀬) さん
七月十三日	イツモ美容室さん・歌と踊りの花しるべ慰問
七月十三日	つくし会 様慰問
七月十三日	雅鳥さん慰問
七月十三日	割子弁当
七月十三日	カラオケ 天遊会 様慰問
七月十三日	犬山病院 先生 往診
七月十三日	菓子販売 (濫・尚)
七月十三日	囃子 先生 往診
七月十三日	北ノ門 歯科 先生 往診
七月十三日	菓子販売 (尚)
七月十三日	川柳教室 (第一・三)
七月十三日	マッサージ 師 様 往診



ウエス回収ご協力の お知らせ

当苑では、日々の業務の中で多目的に古着・古布を使用しています。もしご家庭でいらなくなった(衣類であれば着なくなった)古着や古布がありましたらぜひ当苑へお声かけいただきたいと思います。なお、材質によっては回収できないもの(化学・ナイロン等)もありますので、まずはお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ナーシングホーム (特養) 犬山白寿苑
デイサービスセンター 犬山白寿苑

在宅介護支援
センター
犬山白寿苑



地域包括支援
センター
楽田地区サブ
センター

犬山白寿苑 ショートステイ
犬山白寿苑 ケアマネジメントセンター

(全事業所共通)

TEL : 0568-67-6699

FAX : 0568-67-8910

(居宅・地域包括・在宅支援)

TEL : 0568-67-6684

FAX : 0568-67-8910

E-mail: hakujuen@i-hakujuen.or.jp

HP: http://www.i-hakujuen.or.jp